

## P-1-090

子育て期女性の就労と家事の相互健康影響：  
baseline data I永谷 照男<sup>1)</sup>、日比野 稔<sup>2)</sup>、近藤 康明<sup>2)</sup><sup>1)</sup> 名古屋市立大学大学院 医学研究科 公衆衛生学、<sup>2)</sup> 国際セン  
トラルクリニック

**目的** 子育て期女性の就労と家事が生活習慣や健康指標に与える相互影響評価を目指す「働くことと健康に関する調査研究、<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kouei.dir/moku%20sinkou.html>」の途中経過を本学会、日本衛生学会、日本公衆衛生学会などで示してきた。全体計画は7年間の追跡研究であるが、収集を終えた baseline の調査用問診と健診成績の概要を示す。

**対象者** 2008.10～2013.3の健診受診女性から無作為に選び、面接で同意を得た5737名から資料を得た。このうち、「収集後の同意撤回者、主要・過半数データの欠損者、年齢：25歳未満、50歳以上、重複者、妊娠中、退職者、学生」を除いた5002名を baseline sample とした。ここでは健診成績の有無・内容は除外項目としない。

**調査用問診** 1) 就労：有無、正規／非正規雇用、職種、一週勤務日数、一日勤務時間、坐業割合、深夜勤務、通勤時間、職務や待遇の満足感 など、2) 家事：世帯構成、配偶者や子の有無・年齢、要介護者の有無・年齢、家事分担率、地域・学校活動 など、3) 生活習慣：飲酒、喫煙、運動、歩行・睡眠時間、食習慣（朝食、米類、肉類、魚介類、牛乳などの摂取頻度）など、4) 主観的健康：健康・幸福・疲労感、睡眠良し悪し、GHQ12 など。

**客観的健康** 健診成績から、病歴、体格、血圧、心拍、血糖、HbA1c、血清脂質（総、HDL、LDL-cholesterol、中性脂肪）、尿酸、肝機能、心電図、腹部超音波 など。

**主な属性** 年齢 平均(SD)=38.3(5.5)歳。就労 無職／非正規／正規：875／1570／2557。配偶者 有／無：2789／2213。子育て 有／無：2022／2980。→ 下表に配偶者、子育て、就労別の n と平均年齢(SD)。一週就労時間 非正規／正規：平均(SD)=30.4(12.4)／43.3(7.7) h/w。家事分担率 無職／非正規／正規：平均(SD)=92(14)／74(32)／58(38) %。有病者率 無職／非正規／正規：26／25／23 %。

**追跡** 上記問診を baseline から3, 7年後に郵送で再調査し(3年後調査：2013.12末で55%完了)、健診成績は継続収集中。今後、横断結果(今回はBMIと血圧の結果を提示予定)を示しつつ、追跡を継続する。

**附** a) 名古屋市立大学大学院医学研究科倫理審査委員会の承認を得ている。b) 研究費：三菱財団、日本健康増進財団、ヘルス・サイエンス・センター、愛知健康増進財団の助成金および文科省科研費。

## 配偶者、子育て、就労の有無別対象者数と年齢 n=5002

配偶者	子育て	就労		
		無職	非正規	正規
有 2789	有	n 710	691	470
	age 39.6 (4.2)	39.6 (4.2)	41.6 (4.2)	39.5 (4.6)
	無	n 148	336	434
	age 39.2 (5.9)	39.2 (5.9)	39.1 (5.5)	38.8 (5.7)
無 2213	有	n 1	56	94
	age 37	37	41.0 (4.2)	40.6 (4.4)
	無	n 16	487	1559
	age 40.6 (6.5)	40.6 (6.5)	36.2 (5.6)	36.2 (5.5)